

和歌語彙の研究に『日本語歴史コーパス』を 利用する際の留意点

菊池 そのみ・菅野 倫匡

キーワード：和歌、勅撰和歌集、八代集、異本歌、底本、歌番号

要 旨

近年は『日本語歴史コーパス』の公開・拡充により、これを利用した和歌語彙の研究も容易になりつつある。このコーパスは対象とする言語資料を電子化した上で検索に資する情報をアノテーションしたものであるが、コーパスを構築する際に依拠した底本とコーパス所収の本文との間に無視し得ない異同のあることは広く知られていないという現状にある。この異同について本稿は和歌語彙の研究を念頭に置き、留意する必要がある点を報告するものである。なお、この異同について本稿では実例に基づいて便宜的に4つのタイプに区分し、和歌集別に表として示した。

1. はじめに

日本語の歴史的な研究においては既に佐々木（2021）も指摘しているように昨今の段階的な公開・拡充に伴って『日本語歴史コーパス』（以下、CHJ）を利用したものが増えてきた。特に和歌集に関わることに限定すれば、2014年3月公開の『日本語歴史コーパス平安時代編』（以下、『CHJ 平安時代編』）所収の『古今和歌集』を皮切りに2019年12月公開の『日本語歴史コーパス和歌集編』（以下、『CHJ 和歌集編』）所収の勅撰和歌集（八代集）に至るまで継続的に拡充が進められてきた経緯¹があり、和歌

¹ 公開の時期は短単位データと長単位データとが揃う Ver.1.0 を基準とした。なお、短単位データに限れば、『CHJ 平安時代編』（Ver.0.8）は2012年12月公開であり、『CHJ 和歌集編』（Ver.0.8）は2019年3月公開である旨を申し添える。

語彙の研究にも CHJ を利用することが可能になりつつある。実際に和歌語彙の研究のうち品詞の構成比率に着目した研究を例に挙げると近年では富士池 (2014)、菊池・菅野 (2019)、菅野・菊池 (2021) の各研究のように CHJ を利用したものが見られるようになった²。このような研究においては CHJ を利用することによって更なる進展が見込まれるところである。

しかし、CHJ の利用に当たってはコーパスを構築する際に依拠した底本³とコーパス所収の本文との間に異同があるという点に目を向ける必要があるのではないか。この点については関心が寄せられていない憾みがあり、広く知られていない現状にある。

これを踏まえ、本稿は特に CHJ を利用した和歌語彙の研究を念頭に置き、コーパスを構築する際に依拠した底本とコーパス所収の本文との間の異同について和歌集別に報告するものである。

なお、この異同については本稿に先立って菅野・菊池 (2021) においても部分的に言及しており、実際に底本と照らし合わせて修正することも試みているが、その詳細を具体的に示すには至らなかった。これを受けて CHJ を構築する際に依拠した底本と CHJ 所収の本文との異同について実例に基づいて報告する本稿は菅野・菊池 (2021) に示した結果に対する補足を兼ねるものとしても位置づけられるのである。

2. 異同の概要

以下では CHJ を構築する際に依拠した底本と CHJ 所収の本文との異同を和歌集別に報告することに先立ち、両者の異同について 3 つのタイプに大別してから更に後二者を 2 つのタイプに分け、便宜的に設けた計 4 つのタイプを提示した上で異同を示す表の見方を説明することとする。

なお、全体に関わる場所として CHJ を構築する際に依拠した底本は『CHJ 平安時代編』所収の『古今和歌集』が小沢・松田 (校注・訳) (1994) 『新編日本古典文学全集 11 古今和歌集』(以下、新編全集) とのことであり、『CHJ 和歌集編』所収の勅撰和歌

² 和歌語彙の研究のうち品詞の構成比率に着目したものについては菊池・菅野 (2019) に整理を試みていることから議論の詳細は紙幅の都合上、割愛する。

³ 本稿ではコーパスに本文を収録する際に依拠した言語資料を仮に底本と呼ぶこととする。このように呼ぶのは菅野・菊池 (2021:166) において「本文の違いとは一般に同一と看做し得る作品 (または資料) について媒体の別を問わず、存在する全ての本文の異同に加えて校訂や電子化に伴う改変なども広く指すものと解せるが、本稿では特にコーパスの構築に際して依拠した底本の違いを指すものとして解することとする」と述べたことを踏まえたものである。

集（八代集）が「正保四年吉田四郎右衛門尉版廿一代集本」を基に作られた「正保四年版『二十一代集』の翻字データ」（松崎 2019:218）とのことである。これを踏まえ、CHJを構築する際に依拠した底本とCHJ所収の本文とを照らし合わせる際には前者について新編全集を参照し、後者について中村・立川・杉田（監）（1999）『国文学研究資料館データベース古典コレクション二十一代集〔正保版本〕CD-ROM』（以下、正保CD）を参照した。

2.1 異同のタイプ分け

ここではCHJを構築する際に依拠した底本とCHJ所収の本文との異同について説明するために実例に基づいて便宜的に設けた4つのタイプを示すこととする。

まず、両者の異同について整理すると底本にあるもののCHJにない歌、CHJにあるもののCHJにおける本文種別が「歌」以外である歌、CHJにあってCHJにおける本文種別が「歌」であるもののCHJにおける歌番号が底本におけるそれと異なる歌の3つのタイプに大別するに至った。これらを(1)のようにAタイプ、Bタイプ、Cタイプと仮に呼ぶこととする。

- (1) Aタイプ 底本にあるもののCHJにない歌
- Bタイプ CHJにあるもののCHJにおける本文種別が「歌」以外である歌
- Cタイプ CHJにあってCHJにおける本文種別が「歌」であるもののCHJにおける歌番号が底本におけるそれと異なる歌

次にCタイプについて更に整理を試みるとCHJにおける歌番号が底本におけるそれと一致していない歌とCHJにおける歌番号が底本におけるそれと一致しているものの前者の歌番号の末尾に「上」または「下」が振られている連歌とに分けられることが判明した。これらを(2)のようにC1タイプ、C2タイプと仮に呼ぶこととする。

- (2) C1タイプ CHJにおける歌番号が底本におけるそれと一致していない歌
- C2タイプ CHJにおける歌番号が底本におけるそれと一致しているものの前者の歌番号の末尾に「上」または「下」が振られている連歌

これを踏まえ、本稿において異同を報告するに当たっては当該の歌がA、B、C1、C2のいずれのタイプに該当するかという点を和歌集別に明示するという方針を採る。

2.2 表の見方

ここではCHJを構築する際に依拠した底本とCHJ所収の本文との異同について示す表の見方を説明することとする。

本稿において両者の異同を示すに当たっては当該の歌が前掲した4つのタイプのいずれに該当するかという点に加え、底本における当該の歌の歌番号、CHJにおける当該の歌の本文種別・歌番号、『新編国歌大観』（以下、新編国歌大観）における当該の歌の歌番号を和歌集別に明記するという方針を採る⁴。更に異同を示す表には必要に応じて補足情報や歌の原文を併せて記すこととする。

すなわち、異同を示す表に記す項目は(3)に掲げる通りである。

(3) タイプ	A、B、C1、C2の4つのタイプ
新編全集	新編全集における歌番号
正保CD	正保CDにおける(「N(歌番号)」のタグに記載の)歌番号
CHJ	CHJにおける本文種別(左列)・CHJにおける歌番号(右列)
新編国歌大観	新編国歌大観における歌番号
補足情報	当該の歌に関する補足説明や追加情報
歌	底本における歌の原文 ⁵

また、異同を示す表において同種の異同が7首以上に互って規則的に見られる箇所については先頭の3首と末尾の3首とを示し、その間の歌は「…」を用いて省略してある。これに加えて空欄は該当する事項がないこと、「-」は歌番号が振られていないことをそれぞれ示し、各タイプの境目に罫線を施した。

なお、既に述べた通り、CHJを構築する際に依拠した底本とCHJ所収の本文との異同については異同を示す表に基づいて和歌集別に説明を試みるが、異同を示す表は読者の便宜のために第4節末に表1～表21として一括して示すこととする。

⁴ なお、新編国歌大観における歌番号を示すのは正保CDにおける「S(MEMO領域)」のタグに記載があること、CHJを構築する際に歌の有無や当該の歌の歌番号について原則として新編国歌大観に依拠しているように見受けられることの2点を踏まえたものである。ただし、詳細は後述するが、後者については国立国語研究所のWebサイト等に言及が見られないことを申し添える。

⁵ 歌を引用するに当たっては全ての歌を記載すると煩雑になることから歌番号によって歌を特定し得ないものに限って記載することとした。なお、表記は基本的に底本に拠ったが、紙幅の都合により、上二句と結句とを記載することとし、省略した部分を「…」によって示した。

3. 『CHJ 平安時代編』所収の『古今和歌集』

以下では『CHJ 平安時代編』所収の『古今和歌集』について新編全集と CHJ 所収の本文との異同を取り上げる。両者の異同には A、B、C1 の 3 つのタイプが見られた。その詳細は表 1 と表 2 との両表に示す通りである。

まず、A タイプに該当する歌は計 28 首であり、全て新編全集において「異本所載歌」として収められているものであった。

次に B タイプに該当する歌は計 74 首であり、これは『CHJ 平安時代編』において本文種別「詞書」である 48 首と『CHJ 平安時代編』において本文種別「古注-歌」である 26 首とに分けられるものであった⁶。なお、前者の 48 首について本文種別の欄に「詞書」と記されているのはコーパスを構築する際に当該の歌を詞書に当たる部分と切り離し損ねたことに起因する誤りであると見える。この 48 首については新編全集における 156 番歌、296 番歌、471 番歌の 3 首を除いた 45 首が新編全集において詞書に当たる部分（詠み人を含む）と歌との間にページの境界を含むものであった。また、156 番歌、296 番歌、471 番歌の 3 首はいずれも新編全集において詞書に当たる部分（詠み人を含む）がページの冒頭に位置しているものであった⁷。一方、後者の 26 首については新編全集において「仮名序」に見られるものであった。

続いて C1 タイプに該当する歌は計 6 首であり、全て新編全集において「仮名序」に見られるものであった。これは後述する『CHJ 和歌集編』所収の『古今和歌集』における C1 タイプに該当する 6 首と同じ歌であることを確認してある。

4. 『CHJ 和歌集編』所収の八代集

以下では『CHJ 和歌集編』所収の各和歌集について正保 CD と CHJ 所収の本文との異同を取り上げる。

⁶ なお、後述するようにコーパス検索アプリケーション「中納言」を利用する場合には「古注」を本文種別として検索することは可能であるが、「古注-歌」を本文種別として検索することは「検索フォーム」でも「検索条件式」でも不可能である。また、『CHJ 平安時代編』所収の『古今和歌集』に本文種別が「歌」ではない歌が収められていることは国立国語研究所の Web サイト等にも言及が見られず、「詞書」や「古注」を本文種別として実際に検索を試みなければ、歌が収められているということ自体を知り得ないという点には留意する必要がある。

⁷ ただし、これは当該の歌と詞書に当たる部分とを切り離し損ねているものを場合分けしたに過ぎず、それに該当する場合に必ず切り離し損ねているということを意図するものではない旨を申し添える。

これに先立って『CHJ 和歌集編』所収の本文に関する情報について補足する。国立国語研究所の Web サイトによれば、『CHJ 和歌集編』の「本文の収録範囲」は「原則として全てのテキスト（仮名序、詞書、和歌、左注）」であり、「コーパスの対象範囲外」となるのは底本における「表紙」、「題箋」、「巻名」、「真名序」に該当する箇所とのことである⁸。しかし、菅野・菊池（2021）においても指摘したように『拾遺和歌集』以外の和歌集における歌数は底本におけるそれに比して少なく、底本に見られる全ての歌を『CHJ 和歌集編』に収めているとは言えないということが窺える⁹。

また、松崎（2020）によれば、『CHJ 和歌集編』における本文種別としては（4）に示す 8 種があるとのことである¹⁰。

- (4)
- ・古注（仮名序における古注部分）
 - ・古注-詞書（仮名序における古注に含まれた歌に付随する詞書部分）
 - ・古注-引用歌（仮名序における古注に含まれた引用歌）
 - ・歌
 - ・詞書
 - ・詞書-歌
 - ・左注
 - ・左注-歌（左注に含まれる歌）
- （松崎 2020:4, (1), 一部抜粋）

しかし、コーパス検索アプリケーション「中納言」を利用する場合に選択し得る本文種別は「歌」、「詞書」、「左注」、「古注」、「地の文ほか」の 5 種に限られており、特に和歌語彙の研究を念頭に置けば、歌に該当する「古注-引用歌」、「詞書-歌」、「左注-歌」を本文種別として検索することが「検索フォーム」でも「検索条件式」でも不可能であるという点は問題となる。

⁸ 引用に当たっては『CHJ 和歌集編』の Web ページ (<https://ccd.ninjal.ac.jp/chj/wakashu.html>) を参照した。

⁹ なお、菅野・菊池（2021:168）では「底本にはあるものの『CHJ 和歌集編』にはない和歌が存在する」と述べたが、底本にあるものとしては和歌のみならず、詞書に見られる漢詩も『CHJ 和歌集編』に収められていないことから正確には「底本にはあるものの『CHJ 和歌集編』にはない歌が存在する」ということになる。

¹⁰ ただし、松崎（2020:4）によれば、「仮名序の地の文については本文種別が空欄となる」とのことである。また、引用に当たっては松崎（2020）にページ番号が振られていないことから便宜的にページ番号を施してある。

すなわち、仮に本文種別を「歌」として検索したとしても全ての歌を対象として検索することは不可能であるという現状にあると言える。

4.1 『CHJ 和歌集編』所収の『古今和歌集』

ここでは『CHJ 和歌集編』所収の『古今和歌集』について正保 CD と CHJ 所収の本文との異同を取り上げる。両者の異同には A、B、C1 の 3 つのタイプが見られた。その詳細は表 3 と表 4 との両表に示す通りである。

まず、A タイプに該当する歌は計 20 首であり、これは正保 CD において「仮名序」の古注に当たる部分に見られる 1 首と正保 CD に「異本歌」として収められている 19 首とに分けられるものであった。

次に B タイプに該当する歌は計 24 首であり、正保 CD において「仮名序」の古注に当たる部分に見られ、いずれも『CHJ 和歌集編』において本文種別「古注-引用歌」であるものであった。

続いて C1 タイプに該当する歌は計 6 首であり、全て正保 CD において「仮名序」に見られるものであった。なお、これについては『CHJ 平安時代編』所収の『古今和歌集』における C1 タイプに該当する 6 首と同じ歌であることを確認してある。

4.2 『CHJ 和歌集編』所収の『後撰和歌集』

ここでは『CHJ 和歌集編』所収の『後撰和歌集』について正保 CD と CHJ 所収の本文との異同を取り上げる。両者の異同には B、C1 の 2 つのタイプが見られた。その詳細は表 5 に示す通りである。

まず、B タイプに該当する歌は計 8 首であり、正保 CD において詞書に当たる部分に見られ、いずれも『CHJ 和歌集編』において本文種別「詞書-歌」であるものであった¹¹。

次に C1 タイプに該当する歌は計 976 首であり、正保 CD において 451 番歌から 1426 番歌までの歌に当たるものであった。この異同については正保 CD における 451 番歌が『CHJ 和歌集編』において歌番号の欄に「ナシ」と記されていること、正保 CD における 452 番歌が『CHJ 和歌集編』において 451 番歌として収められていて以降も規則的に齟齬が生じていることの 2 点に起因しているものと見える。なお、正保 CD の注記によれば、正保 CD における 451 番歌は『後撰和歌集』の諸本のうち「高松宮家蔵

¹¹ なお、表 5 の補足情報の欄において「一部」と記してあるのは歌の一部のみが見られることを示すものである。これは以下の表においても同様である。

天福本」と「大山寺藏貞応二年本」とに見られず、新編国歌大観にも見られない歌であるとのことである。これにより、『CHJ 和歌集編』においては正保 CD における 451 番歌に当たる歌の歌番号の欄に「ナシ」と記されるに至ったのではないか¹²。

4.3 『CHJ 和歌集編』所収の『拾遺和歌集』

ここでは『CHJ 和歌集編』所収の『拾遺和歌集』について正保 CD と CHJ 所収の本文との異同を取り上げる。両者の異同には C1、C2 の 2 つのタイプが見られた。その詳細は表 6 と表 7 との両表に示す通りである。

まず、C1 タイプに該当する歌は計 6 首であった。正保 CD の注記によれば、これは『拾遺和歌集』の諸本において異同のある歌や正保 CD の底本に見られないことから諸本に照らして補った歌であるとのことである。なお、『CHJ 和歌集編』における歌番号は新編国歌大観におけるそれと一致していることから新編国歌大観に依拠したものと見える。

次に C2 タイプに該当する歌は計 12 首であり、正保 CD において 1179 番歌から 1184 番歌までの連歌に当たるものであった。この異同については連歌の上の句と下の句とが正保 CD においては同一の歌番号（「N（歌番号）」のタグ）であるのに対し、『CHJ 和歌集編』においては（2）に示したように歌番号の末尾に「上」または「下」が記されていることによって生じたものと言える¹³。

4.4 『CHJ 和歌集編』所収の『後拾遺和歌集』

ここでは『CHJ 和歌集編』所収の『後拾遺和歌集』について正保 CD と CHJ 所収の本文との異同を取り上げる。両者の異同には B、C1 の 2 つのタイプが見られた。その詳細は表 8 に示す通りである。

まず、B タイプに該当する歌は計 4 首であり、これは『CHJ 和歌集編』において本文種別「左注・歌」である 1 首と『CHJ 和歌集編』において本文種別「詞書・歌」である 3 首とに分けられるものであった。

¹²『CHJ 和歌集編』において歌番号の欄に「ナシ」と記されているのは正保 CD において新編国歌大観における歌番号が記してある「S (MEMO 領域)」のタグに「ナシ」との記載があることに依拠している可能性がある。ただし、正保 CD の「S (MEMO 領域)」のタグにおける「ナシ」とは新編国歌大観に歌自体が見られないことを示すものであり、歌番号が振られていないことを示すものではないという点に留意する必要がある。

¹³なお、表 6 と表 7 との両表においては正保 CD に収められている歌の順に従って下の句に続いて上の句を示した箇所があることを申し添える。これは以下の表においても同様である。

次に C1 タイプに該当する歌は計 394 首であり、正保 CD において 827 番歌から 1219 番歌までと 1224 番歌とに当たる歌であった。この異同については正保 CD における 827 番歌が『CHJ 和歌集編』において歌番号の欄に「ナシ」と記されていること、正保 CD における 828 番歌が『CHJ 和歌集編』において 827 番歌として収められていて以降も規則的に齟齬が生じていることの 2 点に起因しているものと見える。なお、正保 CD の注記によれば、正保 CD における 827 番歌は「書陵部本」に見られず、新編国歌大観にも見られない歌であるとのことである。これにより、『CHJ 和歌集編』においては正保 CD における 827 番歌に当たる歌の歌番号の欄に「ナシ」と記されるに至ったのではないか¹⁴。

4.5 『CHJ 和歌集編』所収の『金葉和歌集』

ここでは『CHJ 和歌集編』所収の『金葉和歌集』について正保 CD と CHJ 所収の本文との異同を取り上げる。両者の異同には A、B、C1 の 3 つのタイプが見られた。その詳細は表 9～表 16 に示す通りである。

まず、A タイプに該当する歌は計 372 首であった。これは全て正保 CD において「異本歌」として収められているものであり、「初度本にありて底本になき歌」に該当する 154 首（正保 CD における 714 番歌から 867 番歌まで）と「三奏本にありて底本になき歌」に該当する 148 首（同じく 868 番歌から 1015 番歌まで）と「初撰二度本にありて底本になき歌」に該当する 70 首（同じく 1016 番歌から 1085 番歌まで）とに分けられるものであった。また、正保 CD の注記によれば、この A タイプに該当する 372 首は新編国歌大観に見られない歌であるとのことである。これらを踏まえれば、この 372 首が『CHJ 和歌集編』に収められていないのは正保 CD において「異本歌」として収められていること、新編国歌大観に見られない歌であることの 2 点に起因するものと見える¹⁵。

次に B タイプに該当する歌は計 1 首であり、『CHJ 和歌集編』において本文種別「詞書-歌」であるものであった。

¹⁴『CHJ 和歌集編』において歌番号の欄に「ナシ」と記されていることについては既に脚注 12 において指摘した通りである。

¹⁵ただし、既に述べたように『CHJ 和歌集編』所収の『後撰和歌集』と『後拾遺和歌集』とにおいては新編国歌大観に見られない歌であっても正保 CD の底本に見られるものであれば、歌番号の欄に「ナシ」と記された上で収められているのである。これに対し、『CHJ 和歌集編』所収の『金葉和歌集』において当該の 372 首が収められていないのは新編国歌大観にも正保 CD の底本にも見られず、正保 CD において「異本歌」として収められていることを踏まえたものではないか。

続いて C1 タイプに該当する歌は計 707 首であり、これは連歌ではない 669 首と連歌である 38 首とに分けられるものであった¹⁶。後者については正保 CD において 693 番歌から 711 番歌までに当たる歌であり、正保 CD における歌番号と『CHJ 和歌集編』におけるそれとが異なっているものである。なお、連歌について両者の歌番号が同じ場合には C2 タイプに該当するが、この 38 首は歌番号が異なっていることから C1 タイプに該当することになる。

4.6 『CHJ 和歌集編』所収の『詞花和歌集』

ここでは『CHJ 和歌集編』所収の『詞花和歌集』について正保 CD と CHJ 所収の本文との異同を取り上げる。両者の異同には A、C1 の 2 つのタイプが見られた。その詳細は表 17 と表 18 との両表に示す通りである。

まず、A タイプに該当する歌は計 3 首であり、全て正保 CD において「異本歌」として収められているものであった。なお、他の和歌集において A タイプに該当する歌は新編国歌大観にも見られないものであったが、この 3 首については新編国歌大観に見られるものであるにも拘わらず、『CHJ 和歌集編』に収められていない歌であると言える。これを踏まえれば、当該の歌を『CHJ 和歌集編』に収めるか否かの基準は必ずしも新編国歌大観に収められているか否かという点だけに求められるものとは言えないということになる。

次に C1 タイプに該当する歌は計 224 首であった。なお、『CHJ 和歌集編』における歌番号は新編国歌大観におけるそれと一致していることから新編国歌大観に依拠したものと見える。

4.7 『CHJ 和歌集編』所収の『千載和歌集』

ここでは『CHJ 和歌集編』所収の『千載和歌集』について正保 CD と CHJ 所収の本文との異同を取り上げる。両者の異同には B、C1 の 2 つのタイプが見られた。その詳細は表 19 と表 20 との両表に示す通りである。

まず、B タイプに該当する歌は計 2 首であり、『CHJ 和歌集編』において本文種別「詞書-歌」であるものであった。

¹⁶ なお、底本における歌番号と CHJ における歌番号との間に齟齬が生じている原因が明らかである（と考えられる）場合や（それによって）規則的に齟齬が生じている場合は説明を試みたが、それ以外の場合は特段の説明を与えず、表を示すのみに留めた。これは以下の表においても同様である。

次に C1 タイプに該当する歌は計 1024 首であった。この異同は正保 CD において 197 番歌と 858 番歌とに当たる歌として 2 首ずつが収められているのに対して『CHJ 和歌集編』においては 1 首ずつにそれぞれ歌番号が振られていることから歌番号に齟齬が生じていることに起因するものと見える。なお、正保 CD の注記によれば、正保 CD における 197 番歌の 1 首目と 858 番歌の 1 首目とは共に正保 CD の底本に見られない歌であり、諸本に照らして前者については歌の初句から次の歌の作者名までを補っており、後者については歌を補っているとのことである。また、『CHJ 和歌集編』における歌番号は新編国歌大観におけるそれと一致していることから新編国歌大観に依拠したものと見える。

4.8 『CHJ 和歌集編』所収の『新古今和歌集』

ここでは『CHJ 和歌集編』所収の『新古今和歌集』について正保 CD と CHJ 所収の本文との異同を取り上げる。両者の異同には B、C1 の 2 つのタイプが見られた。その詳細は表 21 に示す通りである。

まず、B タイプに該当する歌は計 5 首であり、これは『CHJ 和歌集編』において本文種別「詞書」である 4 首と本文種別「左注」である 1 首とに分けられるものであった¹⁷。なお、『CHJ 和歌集編』所収の他の和歌集において B タイプに該当する歌（詞書や左注に当たる部分に見られる歌）は『CHJ 和歌集編』において本文種別の欄に「詞書-歌」や「左注-歌」と記されているのに対し、この 5 首は本文種別の欄に「詞書」や「左注」と記されている。このことは詞書や左注に当たる部分に見られる歌であっても『CHJ 和歌集編』における本文種別が和歌集によって異なっていることを示すものである¹⁸。また、松崎（2020）の示す『CHJ 和歌集編』における本文種別は既に（4）に掲げた通りであり、これに照らすと詞書や左注に当たる部分に見られる歌の本文種別は「詞書-歌」、「左注-歌」であるように見受けられるものの実際にはその限りではないという点に留意する必要がある。

次に C1 タイプに該当する歌は計 203 首であった。なお、『CHJ 和歌集編』における歌番号は新編国歌大観におけるそれと一致していることから新編国歌大観に依拠したものと見える。

¹⁷ 前者のうち 2 首は漢詩である。

¹⁸ ただし、本文種別の欄に「詞書-歌」や「左注-歌」と記されている歌と本文種別の欄に「詞書」や「左注」と記されている歌との間に差異があるとは認め難い旨を申し添える。

表1 『CHJ 平安時代編』所収の『古今和歌集』と新編全集との異同 (その1)

タイプ	新編全集	CHJ	新編国歌大観	補足情報	歌
A	1112			異本所載歌	
	1113			異本所載歌	
	1114			異本所載歌	
	⋮			⋮	
	1138			異本所載歌	
	1139			異本所載歌	
	1140			異本所載歌	
B	6	詞書	—	6	
	107	詞書	—	107	
	133	詞書	—	133	
	153	詞書	—	153	
	156	詞書	—	156	
	167	詞書	—	167	
	170	詞書	—	170	
	177	詞書	—	177	
	183	詞書	—	183	
	193	詞書	—	193	
	237	詞書	—	237	
	256	詞書	—	256	
	296	詞書	—	296	
	348	詞書	—	348	
	352	詞書	—	352	
	355	詞書	—	355	
	357	詞書	—	357	
	377	詞書	—	377	
	382	詞書	—	382	
	393	詞書	—	393	
	416	詞書	—	416	
	418	詞書	—	418	
	420	詞書	—	420	
	433	詞書	—	433	
	446	詞書	—	446	
	456	詞書	—	456	
	471	詞書	—	471	
	478	詞書	—	478	
	617	詞書	—	617	
	803	詞書	—	803	
	838	詞書	—	838	
861	詞書	—	861		
868	詞書	—	868		
870	詞書	—	870		
921	詞書	—	921		
931	詞書	—	931		
947	詞書	—	947		
961	詞書	—	961		
963	詞書	—	963		
966	詞書	—	966		
970	詞書	—	970		
978	詞書	—	978		
981	詞書	—	981		
987	詞書	—	987		
1002	詞書	—	1002		
1013	詞書	—	1013		

表2 『CHJ平安時代編』所収の『古今和歌集』と新編全集との異同（その2）

タイプ	新編全集	CHJ	新編国歌大観	補足情報	歌
B	1053	詞書	—	1053	
	1094	詞書	—	1094	
	仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	八雲立つ出雲八重垣…その八重垣を
	仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	安積山かげさへ見ゆる…思ふものかやは
	仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	たらちめの親のかみ蚕の…妹に逢はずて
	仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	須磨の海人の塩焼く煙…たなびきにけり
	仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	山桜飽くまで色を…風吹かぬ世に
	仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	春日野に若菜摘みつつ…神ぞ知るらむ
	仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	龍田河紅葉乱れて…ななかや絶えなむ
	仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	梅の花それとも見えず…なべて降れれば
	仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	ほのぼのとあかしの浦の…舟をしぞ思ふ
	仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	春の野にすみれ摘みこと…一夜寝にける
	仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	和歌の浦に潮満ちくれば…鶴鳴きわたる
	仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	あさみどり糸よりかかけて…春の柳か
	仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	蓮葉の濁りに染まぬ…玉とあざむく
	仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	名にめでて折れるばかりぞ…人にかたるな
	仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	月やあらぬ春や昔の…もとの身にして
	仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	大方は月をもめでじ…老となるもの
	仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	寝ぬる夜の夢をいかのみ…なりまさるかな
	仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	吹くからに野辺の草木の…嵐といふらむ
	仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	草深き霞の谷に…今日にやはあらぬ
	仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	わが庵は都の辰巳…人はいふなり
	仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	思ひつつ寝ればや人の…覚めざらましを
	仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	色見えて移ろふものは…花にぞあひける
仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	わびぬれば身をうき草の…いなむとぞ思ふ	
仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	わが背子が来べき宵なり…かかねてしるしも	
仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	思ひいでて恋しきときは…人は知らずや	
仮名序	古注-歌	—	仮名序-古注	鏡山いざ立ち寄りて…老いやしぬると	
C1	仮名序	歌	—	仮名序-歌	難波津に咲くや木の花…咲くや木の花
	仮名序	歌	—	仮名序-歌	咲く花に思ひつく身の…いるも知らずて
	仮名序	歌	—	仮名序-歌	君に今朝朝の霜の…消えやわたらむ
	仮名序	歌	—	仮名序-歌	わが恋はよむども尽きじ…よみ尽くすとも
	仮名序	歌	—	仮名序-歌	いっはりのなき世なりせば…うれしからまし
	仮名序	歌	—	仮名序-歌	この殿はむかへも富みけり…殿づくりせり

表3 『CHJ和歌集編』所収の『古今和歌集』と正保CDとの異同（その1）

タイプ	正保CD	CHJ	新編国歌大観	補足情報	歌
A	1118			仮名序-古注	
	1143			異本歌	
	1144			異本歌	
	1145			異本歌	
	⋮			⋮	
	1159			異本歌	
	1160			異本歌	
1161			異本歌		
B	1112	古注-引用歌	—	仮名序-古注	
	1116	古注-引用歌	—	仮名序-古注	
	1120	古注-引用歌	—	仮名序-古注	
	1122	古注-引用歌	—	仮名序-古注	
	1123	古注-引用歌	—	仮名序-古注	

表4 『CHJ和歌集編』所収の『古今和歌集』と正保CDとの異同 (その2)

タイプ	正保CD	CHJ	新編国歌大観	補足情報	歌
B	1124	古注-引用歌	—	仮名序-古注	
	1125	古注-引用歌	—	仮名序-古注	
	1126	古注-引用歌	—	仮名序-古注	
	⋮			⋮	
	1140	古注-引用歌	—	仮名序-古注	
	1141	古注-引用歌	—	仮名序-古注	
	1142	古注-引用歌	—	仮名序-古注	
C1	1113	歌	—	仮名序-歌	
	1114	歌	—	仮名序-歌	
	1115	歌	—	仮名序-歌	
	1117	歌	—	仮名序-歌	
	1119	歌	—	仮名序-歌	
	1121	歌	—	仮名序-歌	

表5 『CHJ和歌集編』所収の『後撰和歌集』と正保CDとの異同

タイプ	正保CD	CHJ	新編国歌大観	補足情報	歌
B	1427	詞書-歌	—	66番歌詞書	春雨のふらはおもひの…めをもやすらん
	1428	詞書-歌	—	73番歌詞書・一部	花のいろ霞にこめてみせず
	1429	詞書-歌	—	807番歌詞書・一部	恋をしこひは
	1430	詞書-歌	—	838番歌詞書・一部	いな舟の
	1431	詞書-歌	—	864番歌詞書・一部	かくしつゝよをやつくさん高砂の
	1432	詞書-歌	—	1050番歌詞書・一部	忘草なにをかたねとおもひしは
	1433	詞書-歌	—	1272番歌詞書・一部	あた人のおもふといひし言のは
	1434	詞書-歌	—	1355番歌詞書・一部	ふりさけみおひは
C1	451	歌	ナシ		
	452	歌	451	451	
	453	歌	452	452	
	454	歌	453	453	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	1424	歌	1423	1423	
	1425	歌	1424	1424	
	1426	歌	1425	1425	

表6 『CHJ和歌集編』所収の『拾遺和歌集』と正保CDとの異同 (その1)

タイプ	正保CD	CHJ	新編国歌大観	補足情報	歌	
C1	1355	歌	1359	1359		
	1356	歌	1358	1358		
	1357	歌	1360	1360		
	1358	歌	1355	1355		
	1359	歌	1356	1356		
	1360	歌	1357	1357		
C2	1179	歌	1179上	1179	連歌	流俗の色にはあらず梅花
	1179	歌	1179下	1179	連歌	珍重すへきものところみれ
	1180	歌	1180上	1180	連歌	春はもえ秋はこかるゝかまと山
	1180	歌	1180下	1180	連歌	霞もきりもけふりとそ見る
	1181	歌	1181下	1181	連歌	おもひたちぬるけふにもあるかな
	1181	歌	1181上	1181	連歌	かゝらでもありにし物を春かすみ

表7 『CHJ 和歌集編』所収の『拾遺和歌集』と正保CDとの異同（その2）

タイプ	正保CD	CHJ	新編国歌大観	補足情報	歌	
C2	1182	歌	1182下	1182	連歌	くらすへしやは今まてにきみ
	1182	歌	1182上	1182	連歌	とふやとそわれもまちつる春の日を
	1183	歌	1183上	1183	連歌	さ夜ふけていまはねふたく成にけり
	1183	歌	1183下	1183	連歌	夢にこあふへき人やまつらむ
	1184	歌	1184上	1184	連歌	人こころうしみつ今はたのましょ
	1184	歌	1184下	1184	連歌	夢にみゆやとねそすきにける

表8 『CHJ 和歌集編』所収の『後拾遺和歌集』と正保CDとの異同

タイプ	正保CD	CHJ	新編国歌大観	補足情報	歌
B	1220	左注・歌	—	565番歌左注	夢ならて又もあふへき…なげかざらまし
	1221	詞書・歌	—	696番歌詞書・一部	ふちはせに
	1222	詞書・歌	—	953番歌詞書・一部	われざへ人を
	1223	詞書・歌	—	1013番歌詞書・一部	世中をなにへたとへん
C1	827	歌	ナシ		
	828	歌	827	827	
	829	歌	828	828	
	830	歌	829	829	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	1217	歌	1216	1216	
	1218	歌	1217	1217	
	1219	歌	1218	1218	
1224	歌	1219	1219		

表9 『CHJ 和歌集編』所収の『金葉和歌集』と正保CDとの異同（その1）

タイプ	正保CD	CHJ	新編国歌大観	補足情報	歌
A	714			異本歌	
	715			異本歌	
	716			異本歌	
	⋮			⋮	
	1083			異本歌	
	1084			異本歌	
	1085			異本歌	
B	713	詞書・歌	—	547番歌詞書	まことにやあまたかさねし…くもりなきよに
C1	23	歌	666	666	
	24	歌	23	23	
	25	歌	24	24	
	26	歌	25	25	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	37	歌	36	36	
	38	歌	37	37	
	39	歌	38	38	
	40	歌	667	667	
	41	歌	40	40	
	42	歌	41	41	
	43	歌	42	42	
	44	歌	43	43	
45	歌	44	44		
46	歌	45	45		

表 10 『CHJ 和歌集編』所収の『金葉和歌集』と正保 CD との異同 (その 2)

タイプ	正保CD	CHJ	新編国歌大観	補足情報	歌
C1	47	歌	46	46	
	48	歌	47	47	
	51	歌	39	39	
	52	歌	51	51	
	53	歌	52	52	
	54	歌	48	48	
	55	歌	53	53	
	56	歌	54	54	
	57	歌	55	55	
	58	歌	56	56	
	59	歌	668	668	
	60	歌	57	57	
	61	歌	58	58	
	62	歌	59	59	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	69	歌	66	66	
	70	歌	67	67	
	71	歌	68	68	
	72	歌	669	669	
	73	歌	69	69	
	74	歌	70	70	
	75	歌	71	71	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	90	歌	86	86	
	91	歌	87	87	
	92	歌	88	88	
	93	歌	670	670	
	94	歌	89	89	
	95	歌	90	90	
	96	歌	91	91	
	97	歌	93	93	
	98	歌	92	92	
	99	歌	94	94	
	100	歌	95	95	
	101	歌	96	96	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	106	歌	101	101	
	107	歌	102	102	
	108	歌	103	103	
	109	歌	671	671	
	110	歌	672	672	
	111	歌	104	104	
	112	歌	105	105	
	113	歌	106	106	
	114	歌	107	107	
	115	歌	108	108	
	116	歌	109	109	
	117	歌	110	110	
	118	歌	112	112	
	119	歌	111	111	
	120	歌	113	113	
	121	歌	114	114	
	122	歌	673	673	

表 11 『CHJ 和歌集編』所収の『金葉和歌集』と正保 CD との異同（その 3）

タイプ	正保CD	CHJ	新編国歌大観	補足情報	歌
CI	123	歌	115	115	
	124	歌	116	116	
	125	歌	117	117	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	128	歌	120	120	
	129	歌	121	121	
	130	歌	122	122	
	131	歌	674	674	
	132	歌	123	123	
	133	歌	124	124	
	134	歌	125	125	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	164	歌	155	155	
	165	歌	156	156	
	166	歌	157	157	
	167	歌	675	675	
	168	歌	158	158	
	169	歌	159	159	
	170	歌	160	160	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	183	歌	173	173	
	184	歌	174	174	
	185	歌	175	175	
	186	歌	676	676	
	187	歌	176	176	
	188	歌	177	177	
	189	歌	178	178	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	210	歌	199	199	
	211	歌	200	200	
	212	歌	201	201	
	213	歌	677	677	
214	歌	202	202		
215	歌	203	203		
216	歌	204	204		
217	歌	205	205		
218	歌	206	206		
219	歌	678	678		
220	歌	207	207		
221	歌	208	208		
222	歌	209	209		
⋮	⋮	⋮	⋮		
237	歌	224	224		
238	歌	225	225		
239	歌	226	226		
240	歌	679	679		
241	歌	227	227		
242	歌	228	228		
243	歌	229	229		
⋮	⋮	⋮	⋮		
249	歌	235	235		
250	歌	236	236		
251	歌	237	237		

表 12 『CHJ 和歌集編』所収の『金葉和歌集』と正保 CD との異同 (その 4)

タイプ	正保CD	CHJ	新編国歌大観	補足情報	歌
C1	252	歌	680	680	
	253	歌	238	238	
	254	歌	239	239	
	255	歌	240	240	
	256	歌	681	681	
	257	歌	241	241	
	258	歌	242	242	
	259	歌	243	243	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	267	歌	251	251	
	268	歌	252	252	
	269	歌	253	253	
	270	歌	682	682	
	271	歌	254	254	
	272	歌	255	255	
	273	歌	256	256	
	274	歌	257	257	
	275	歌	258	258	
	276	歌	259	259	
	277	歌	683	683	
	278	歌	260	260	
	279	歌	261	261	
	280	歌	262	262	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	286	歌	268	268	
	287	歌	269	269	
	288	歌	270	270	
	289	歌	684	684	
	290	歌	271	271	
	291	歌	272	272	
	292	歌	273	273	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	310	歌	291	291	
	311	歌	292	292	
	312	歌	293	293	
	313	歌	685	685	
	314	歌	294	294	
	315	歌	295	295	
	316	歌	296	296	
	317	歌	686	686	
	318	歌	297	297	
	319	歌	298	298	
	320	歌	299	299	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	367	歌	346	346	
	368	歌	347	347	
	369	歌	348	348	
	370	歌	687	687	
	371	歌	349	349	
	372	歌	350	350	
	373	歌	351	351	
	374	歌	352	352	
	375	歌	353	353	

表 13 『CHJ 和歌集編』所収の『金葉和歌集』と正保 CD との異同（その 5）

タイプ	正保CD	CHJ	新編国歌大観	補足情報	歌
C1	376	歌	688	688	
	377	歌	354	354	
	378	歌	355	355	
	379	歌	356	356	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	406	歌	383	383	
	407	歌	384	384	
	408	歌	385	385	
	409	歌	689	689	
	410	歌	386	386	
	411	歌	387	387	
	412	歌	388	388	
	413	歌	389	389	
	414	歌	390	390	
	415	歌	690	690	
	416	歌	391	391	
	417	歌	392	392	
	418	歌	393	393	
	419	歌	394	394	
	420	歌	691	691	
	421	歌	395	395	
	422	歌	396	396	
	423	歌	397	397	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	432	歌	406	406	
	433	歌	407	407	
	434	歌	408	408	
	435	歌	692	692	
	436	歌	409	409	
	437	歌	410	410	
	438	歌	411	411	
	439	歌	412	412	
	440	歌	413	413	
	441	歌	414	414	
	442	歌	415	415	
	443	歌	693	693	
	444	歌	416	416	
	445	歌	417	417	
	446	歌	418	418	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	456	歌	428	428	
	457	歌	429	429	
	458	歌	430	430	
	459	歌	694	694	
	460	歌	431	431	
	461	歌	432	432	
	462	歌	433	433	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	485	歌	456	456	
	486	歌	457	457	
	487	歌	458	458	
	488	歌	695	695	
	489	歌	459	459	

表 14 『CHJ 和歌集編』所収の『金葉和歌集』と正保 CD との異同 (その 6)

タイプ	正保CD	CHJ	新編国歌大観	補足情報	歌
C1	490	歌	460	460	
	491	歌	461	461	
	492	歌	462	462	
	493	歌	696	696	
	494	歌	697	697	
	495	歌	463	463	
	496	歌	464	464	
	497	歌	465	465	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	506	歌	474	474	
	507	歌	475	475	
	508	歌	476	476	
	509	歌	698	698	
	510	歌	477	477	
	511	歌	478	478	
	512	歌	479	479	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	529	歌	496	496	
	530	歌	497	497	
	531	歌	498	498	
	532	歌	699	699	
	533	歌	499	499	
	534	歌	500	500	
	535	歌	501	501	
	536	歌	503	503	
	537	歌	502	502	
	538	歌	504	504	
	539	歌	505	505	
	540	歌	506	506	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	547	歌	513	513	
	548	歌	514	514	
	549	歌	515	515	
	550	歌	700	700	
	551	歌	701	701	
	552	歌	516	516	
	553	歌	517	517	
	554	歌	518	518	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	570	歌	534	534	
	571	歌	535	535	
	572	歌	536	536	
	573	歌	702	702	
	574	歌	537	537	
	575	歌	538	538	
	576	歌	539	539	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	619	歌	582	582	
	620	歌	583	583	
	621	歌	584	584	
	622	歌	703	703	
	623	歌	585	585	
	624	歌	586	586	

表 15 『CHJ 和歌集編』所収の『金葉和歌集』と正保 CD との異同（その 7）

タイプ	正保CD	CHJ	新編国歌大観	補足情報	歌
C1	625	歌	587	587	
	626	歌	588	588	
	627	歌	589	589	
	628	歌	590	590	
	629	歌	591	591	
	630	歌	592	592	
	631	歌	704	704	
	632	歌	593	593	
	633	歌	594	594	
	634	歌	595	595	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	643	歌	604	604	
	644	歌	605	605	
	645	歌	606	606	
	646	歌	705	705	
	647	歌	607	607	
	648	歌	608	608	
	649	歌	706	706	
	650	歌	609	609	
	651	歌	610	610	
	652	歌	611	611	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	667	歌	626	626	
	668	歌	627	627	
	669	歌	628	628	
	670	歌	707	707	
	671	歌	629	629	
	672	歌	630	630	
	673	歌	631	631	
	674	歌	632	632	
	675	歌	633	633	
	676	歌	708	708	
	677	歌	634	634	
	678	歌	635	635	
	679	歌	636	636	
	680	歌	709	709	
	681	歌	637	637	
	682	歌	638	638	
	683	歌	639	639	
	684	歌	640	640	
	685	歌	641	641	
	686	歌	642	642	
	687	歌	710	710	
	688	歌	643	643	
	689	歌	644	644	
	690	歌	645	645	
	691	歌	646	646	
	692	歌	647	647	
	693	歌	648上	648 連歌	あつまひとのこゑこそきたにきこゆなれ
	693	歌	648下	648 連歌	みちのくによりこしにやあるらん
	694	歌	649上	649 連歌	もゝそのゝもゝの花こそさきにけれ
	694	歌	649下	649 連歌	梅津のむめはちりやしぬらん

表 16 『CHJ 和歌集編』所収の『金葉和歌集』と正保 CD との異同 (その 8)

タイプ	正保CD	CHJ	新編国歌大観	補足情報	歌	
CI	695	歌	650上	650	連歌	しめのうちにきねのをとこそきこゆなれ
	695	歌	650下	650	連歌	いかなる神のつくにかあるらん
	696	歌	651上	651	連歌	春の田にすき入ぬへきおきなかな
	696	歌	651下	651	連歌	かの水口に水をいすははや
	697	歌	652上	652	連歌	日のいるはくれなゐにこそ似たりけれ
	697	歌	652下	652	連歌	あかぬさすともおもひけるかな
	698	歌	653下	653	連歌	田にはむこまはくろにそありける
	698	歌	653上	653	連歌	なはしろの水にはかけと見えつれと
	699	歌	654上	654	連歌	かやはらの板ふきにても見ゆるかな
	699	歌	654下	654	連歌	つちくれしてやつくりそめけん
	700	歌	655下	655	連歌	つれなくたてるしかのしまかな
	700	歌	655上	655	連歌	ゆみはりの月のいるにもおとろかて
	701	歌	656上	656	連歌	かも川をつるはきにこてもわたるかな
	701	歌	656下	656	連歌	かりはかまをはおしとおもひて
	702	歌	657下	657	連歌	なにこあゆるをあゆといふらん
	702	歌	657上	657	連歌	う舟にはとりいれしものをおほつかな
	703	歌	658上	658	連歌	千はやふるかみをはあしにまくものか
	703	歌	658下	658	連歌	これをそしもの社とはいふ
	704	歌	659下	659	連歌	たてかる舟のすくるなりけり
	704	歌	659上	659	連歌	あさまたきからるのをとこそゆるは
	705	歌	711上	711	連歌	花くきはちるてふことそなかりける
	705	歌	711下	711	連歌	風のまに / うてはなりけり
	706	歌	660下	660	連歌	ひくにはよはきすまひ草かな
	706	歌	660上	660	連歌	とるてにははかなくうつる花なれと
	707	歌	661上	661	連歌	雨ふれはきしもしとにかなりけり
	707	歌	661下	661	連歌	かさゝきならはかゝらましやは
	708	歌	662下	662	連歌	むめの花かざきたるみのむし
	708	歌	662上	662	連歌	雨よりは風ふくなどやおもふらん
	709	歌	712下	712	連歌	あらうと見れとくろきとりかな
	709	歌	712上	712	連歌	さもこそはすみの江ならめよとにも
	710	歌	663下	663	連歌	よるをとすなりたきのしらいと
	710	歌	663上	663	連歌	くり返しひるもよるとはみゆれとも
711	歌	664下	664	連歌	おくなるをもやはしらはいふ	
711	歌	664上	664	連歌	見わたせは内にも戸をはたてけり	
712	歌	665	665			

表 17 『CHJ 和歌集編』所収の『詞花和歌集』と正保 CD との異同 (その 1)

タイプ	正保CD	CHJ	新編国歌大観	補足情報	歌
A	418			418	異本歌
	419			419	異本歌
	420			420	異本歌
CI	11	歌	12	12	
	12	歌	13	13	
	13	歌	14	14	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	160	歌	161	161	
	161	歌	162	162	
	162	歌	163	163	
	163	歌	416	416	
168	歌	417	417		

表 18 『CHJ 和歌集編』所収の『詞花和歌集』と正保 CD との異同（その 2）

タイプ	正保CD	CHJ	新編国歌大観	補足情報	歌
CI	169	歌	168	168	
	170	歌	169	169	
	171	歌	170	170	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	197	歌	196	196	
	198	歌	197	197	
	199	歌	198	198	
	379	歌	380	380	
	380	歌	381	381	
	381	歌	382	382	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	399	歌	400	400	
	400	歌	401	401	
	401	歌	402	402	
	402	歌	404	404	
	403	歌	405	405	
	404	歌	406	406	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	411	歌	413	413	
	412	歌	414	414	
413	歌	415	415		
414	歌	11	11		
415	歌	199	199		
416	歌	379	379		
417	歌	403	403		

表 19 『CHJ 和歌集編』所収の『千載和歌集』と正保 CD との異同（その 1）

タイプ	正保CD	CHJ	新編国歌大観	補足情報	歌
B	1287	詞書・歌	—	961番歌詞書	あしひきの山井の水は…とくるなるらむ
	1288	詞書・歌	—	1026番歌詞書・一部	しめちかやはら
CI	197	歌	197	197	
	197	歌	198	198	
	198	歌	199	199	
	199	歌	200	200	
	200	歌	201	201	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	423	歌	424	424	
	424	歌	425	425	
	425	歌	426	426	
	426	歌	1289	1289	
	495	歌	496	496	
	496	歌	497	497	
	497	歌	498	498	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	855	歌	856	856	
	856	歌	857	857	
	857	歌	858	858	
858	歌	859	859		
858	歌	860	860		
859	歌	861	861		

表 20 『CHJ 和歌集編』所収の『千載和歌集』と正保 CD との異同 (その 2)

タイプ	正保CD	CHJ	新編国歌大観	補足情報	歌
CI	860	歌	862	862	
	861	歌	863	863	
	862	歌	864	864	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	1284	歌	1286	1286	
	1285	歌	1287	1287	
	1286	歌	1288	1288	
	1289	歌	495	495	

表 21 『CHJ 和歌集編』所収の『新古今和歌集』と正保 CD との異同

タイプ	正保CD	CHJ	新編国歌大観	補足情報	歌
B	1988	詞書	—	50番歌詞書・漢詩一部	二月雪落衣
	1989	詞書	—	55番歌詞書・漢詩一部	不明不暗朧々月
	1990	詞書	—	823番歌詞書・一部	なには堀江のあしのうら葉に
	1991	左注	—	1856番歌左注	ひとならはとはましものを…おひかりはるらん
	1992	詞書	—	1930番歌詞書	ちる花に池の氷も…春の夜の空
CI	1785	歌	1996	1996	
	1786	歌	1785	1785	
	1787	歌	1786	1786	
	1788	歌	1787	1787	
	1800	歌	1799	1799	
	1801	歌	1800	1800	
	1802	歌	1801	1801	
	1803	歌	1992	1992	
	1804	歌	1802	1802	
	1805	歌	1803	1803	
	1806	歌	1804	1804	
	1807	歌	1805	1805	
	1808	歌	1806	1806	
	1809	歌	1807	1807	
	1810	歌	1808	1808	
	1811	歌	1809	1809	
	1812	歌	1810	1810	
	1813	歌	1811	1811	
	⋮	⋮	⋮	⋮	
	1913	歌	1911	1911	
	1914	歌	1912	1912	
	1915	歌	1913	1913	
	1916	歌	1994	1994	
	1917	歌	1914	1914	
	1918	歌	1915	1915	
	1919	歌	1916	1916	
⋮	⋮	⋮	⋮		
1981	歌	1978	1978		
1982	歌	1979	1979		
1983	歌	1980	1980		
1984	歌	1999	1999		
1985	歌	1984	1984		
1986	歌	1985	1985		
1987	歌	1991	1991		

5. おわりに

本稿ではCHJを構築する際に依拠した底本とCHJ所収の本文との異同について事例に基づいて4つのタイプに区分し、和歌集別に示した。これらの異同はCHJを用いた和歌語彙の研究において結果に影響し得るものと考えられるにも拘わらず、国立国語研究所のWebサイト等にも言及が見られないことからCHJの利用者としては心許ないところである。

また、本稿はCHJにおいて修正を要する箇所を利用者が指摘する「修正点指摘専用フォームの開設」を提案した佐々木（2021）に引き続き、CHJを利用する際の留意点の一部を提示したものとして位置づけられる。ただし、佐々木（2021）は修正が必要となる個別の箇所を具体的に指摘するための提案であったのに対し、本稿は複数の箇所について一挙に指摘するための提案を試みたものである。これは本稿において取り上げたCHJを構築する際に依拠した底本とCHJ所収の本文との異同のように該当する箇所が多岐に亙るものについて仮に国立国語研究所に修正を要望しても短期間のうちに修正することは困難であると考えたからである。これを踏まえて本稿では広くCHJの利用者に向けた留意点として具体的な異同を示すこととした。

更に冒頭においても述べたようにCHJを利用した研究が増えてきた昨今の状況に鑑みれば、佐々木（2021）や本稿のようなCHJに対する利用者からの提案は継続的に試みられることが見込まれる。そのような提案を連ねることは佐々木（2021:42）の提案と同様にCHJが「よりよいコーパスに進化」するための一助となるものと言えるのではないかと。

最後に「コーパス利用者が、気づいた修正点を国立国語研究所に寄せ、今後の日本語研究のためのより良いコーパスに成長させることを提案したい」という佐々木（2021:37）の指摘を改めて掲げ、本稿の結びとする。

謝辞

本稿は平成29年度「公益信託田島毓堂語彙研究基金」研究助成を受けて作成したデータの一部を使用したものである。

参考資料

小沢正夫・松田成穂（校注・訳）（1994）『新編日本古典文学全集 11 古今和歌集』、小学館。

国立国語研究所 (2020) 『日本語歴史コーパス平安時代編』 (Ver. 2020.3, 中納言 Ver. 2.5.2)
https://pj.ninjal.ac.jp/corpus_center/chj/heian.html (2021年3月13日確認¹⁹).

国立国語研究所 (2020) 『日本語歴史コーパス和歌集編』 (Ver. 2020.3, 中納言 Ver. 2.5.2)
https://pj.ninjal.ac.jp/corpus_center/chj/wakashu.html (2021年3月13日確認²⁰).

「新編国歌大観」編集委員会 (編) (1983) 『新編国歌大観第一巻一勅撰集編歌集一』, 角川書店.
中村康夫・立川美彦・杉田まゆ子 (監) (1999) 『国文学研究資料館データベース古典コレクション
二十一代集〔正保版本〕CD-ROM』, 岩波書店.

参考文献

菅野倫匡・菊池そのみ (2021) 「和歌集における品詞の構成比率の算出方法に関する試論—計量
語彙論のための標本抽出法を中心に— (2021年度テーマ特集「新しい計量的語彙研究)」
『計量国語学』33(3), pp.162-177, 計量国語学会.

菊池そのみ・菅野倫匡 (2019) 「勅撰和歌集の語彙の量的構造をめぐって—一品詞の構成比率の観
点から—」『国語語彙史の研究三十八』, pp.360(57)-336(81), 和泉書院.

佐々木勇 (2021) 「『日本語歴史コーパス』修正点報告の提案」『日本語の研究』17(2), pp.42(1)-
37(6), 日本語学会.

富士池優美 (2014) 「平安時代和歌の語彙の量的構造 (『国語学小特集』総体としての語彙)」『文
学・語学』(211), pp.120-129, 全国大学国語国文学会.

松崎安子 (2019) 「CHJ『和歌集編』(八代集)の構築と公開」『日本語学会 2019年度春季大会予
稿集』, pp.218-220, 日本語学会.

松崎安子 (2020) 「『日本語歴史コーパス和歌集編』のテキストと「中納言」での表示」
<https://ccd.ninjal.ac.jp/chj/doc/abstract-wakashu-2020.pdf> (2021年9月16日確認).

きくち そのみ／人文社会科学研究所
かんの みちまさ／人文社会系
(2021年9月10日受理)

¹⁹ 国立国語研究所コーパス開発センターに問い合わせたところによると『日本語歴史コーパス』
の Web サイトは 2021 年 4 月 6 日以降に旧 URL (https://pj.ninjal.ac.jp/corpus_center/chj/) から新 URL
(<https://ccd.ninjal.ac.jp/chj/>) に変更になったとのことである。なお、2021 年 3 月 13 日はコーパス所収
の本文を取得した日であり、それ以降も確認のために利用した旨を申し添える。

²⁰ 脚注 19 に同じ。